



Title	If = Though である可能性
Author(s)	加藤, 正治
Citation	待兼山論叢. 文化動態論篇. 2015, 49, p. 1-8
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/61335
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

If = Though である可能性

加藤 正治

キーワード : *even if / even though / concessive / (non-) factual*

1.

通例「Why Y if X」(Y に否定が含まれている場合は除く) のパターンを日本語に訳した場合「X ならば何故 Y なのか」となる。この場合、答えに相当する理由が単純なものであっても複雑なものであっても X と Y との間に「X ならば Y である」という因果関係が成立する場合は最も普通であると考えられる。例えば、(可能性は限りなくゼロに近い落語ネタであるが)「風が吹けば何故桶屋が儲かるのか」や「大気中の二酸化炭素の量が増えれば何故地球は温暖化するのか」のような例がそうである。それぞれ「風が吹けば桶屋が儲かる」「大気中の二酸化炭素の量が増えれば地球は温暖化する」という因果関係が背後に存在する。それを踏まえて次の例を見てみよう。

(1) Why do we need translators if we have dictionaries?

これはことばに関するショート・エッセイのタイトルである。¹⁾ この疑問に対する著者の答えは次の (2) に要約されている。

(2) In a nutshell, translation isn't about words. It's about what the words are about. (p. 210, ll.26-27)

これが主張しているのは、翻訳をするには単語の意味が分かるだけでは不十分で（即ち、辞書だけでは不十分で）専門的な知識も含めて多くの情報が必要である、といったことであろう。したがって、Xに相当する「辞書がある」とYに相当する「翻訳者が必要である」との間には一般常識として因果関係はないことになる。日本語では「辞書があるなら（ば）何故翻訳者が必要なのか」となり、何となく不自然な感じがしないでもないが、（個人的には）十分容認できる文である。内容としては少々くどくなるが「辞書があるなら（ば）翻訳者は必要ないと思われるのに何故必要なのか」ということであろう。つまり、因果関係ではなく「Xであるのに（もかかわらず）Yである」という譲歩の関係が背後に隠れている。そういうことになると、日本語訳としては「辞書があるのに（もかかわらず）何故翻訳者が必要なのか」というのが最も素直な訳であることになるが、それはさておいて英語のほうに話を戻すと、(1)においては仮定を表すifが譲歩の意味で使われていることになる。果たしてこれは可能なのであろうか。次の節でその可能性を探ってみる。

2.

Ifと譲歩ということになると真っ先に思い浮かぶのがeven ifである。そしてそれに関連してeven thoughが思い浮かぶ。さまざまな文献などで言われているように、この2つの表現は譲歩を表すという点では同じであるが、本質的には同義ではない。Kjellmer (1989) によると、前者はifの性質をそのまま引き継いでいて、if以下の部分は（事実と反する仮定も含めて）「仮定」を表す。即ち、if以下に続く部分には事実かどうか不明な事柄もしくは事実と反する事柄を表す文が続くことになる。他方、後者はthoughの性質を保持していて、though以下に続く部分には「事実」が表されている。Kjellmer (1989) にはこのことを如実に示す次のような面白い例が見られる。

- (3) I'll go for a swim even though the water is freezing.
- (4) I'll go for a swim even if the water is freezing.
- (5) I'd go for a swim even if the water were freezing.

上に述べた違いを考慮すれば、(1) は「水が凍るように冷たいのは事実だが、それでも泳ぎに行く」、(2) は「水が凍るように冷たいかどうかは分からないが、仮に凍るように冷たいとしても泳ぎに行く」、(3) は「水が凍るように冷たくはないのは事実なのだが、仮に凍るように冷たかったとしても泳ぎに行く」という意味になる。Kjellmer (1989) はこの意味上の相違が両者の用いられる環境に影響を与えているとしている。具体的には、even if 節内に ①いわゆる「後方転移した (backshifted)²⁾」動詞形、② (5) で見たような仮定法、③過去形の助動詞が含まれたり、主節に過去形の助動詞が現れたりする。以下は Kjellmer (1989) の挙げている例の一部である。

- (7) 'Listen, Gaffer,' he whispered in desperation, 'even if that dog *wins*, you'll no' get a hundred quid back.' (Kjellmer (19))
- (8) The United Kingdom, even if it *wanted* to, has no power or authority to commit the countries of the Commonwealth to anything . . . ; (Kjellmer (21))
- (9) . . . there was no permit to be had; and even if there *had been*, by the time I didn't have . . . (Kjellmer (23))
- (10) Alas, she will not, even if she *be* a duchess, though if she's a typist . . . (Kjellmer (25))
- (11) Even if it *should* be decided to let his standby lie fallow . . . , there is always a handy substitute . . . (Kjellmer (28))
- (12) . . . and that therefore this doctrine, even if true, *would* be useless. (Kjellmer (30))

上の例の(7)～(9)は従属節に生じた後方転移した動詞の例、(10)は従属節に生じた仮定法の例、(11)は従属節に生じた過去形の助動詞の例、そして(12)は主節に生じた過去形の助動詞の例である。これらの動詞形はいずれも仮定と深い関連があることは周知の事実である。他方、even though を用いた文には even though 節内の内容が事実であることを暗示する表現が現れる。Kjellmer はそのような表現として①意味を限定・制限する働きを持つ qualifier あるいは specifier と呼ばれる要素②「知識・情報の源を指し示すもの」の二つを挙げている。①を挙げた理由として Kjellmer は次のように述べている。

If the task of the subclause is to convey or refer to factual information rather than to present a hypothesis, it seems natural to narrow down or define with some precision the field in which the facts presented are true or relevant.

そのような例として挙げられているのは次のようなものである。

(13) Babe Ruth of course, was everyone's hero, and everyone knew him, even though relatively few saw him play ball. (Kjellmer (34))

(14) For example Australia, even though she exports a much more varied range of products, relies on temperate food stuffs . . . (Kjellmer (35))

ここで用いられている *relatively few* 及び *much more varied* はそれぞれの節で述べられている考えに制限を加えるので、even though 節内の意味解釈が事実であることに裏付けを与える、とされている。②の例としては次のものが挙げられている。

(15) Just as I know I would make a bad soldier even though I cannot sincerely call myself a pacifist, so too . . . (Kjellmer (37))

- (16) he would certainly never take the far more drastic step of ordering the return of Gascony to Edward, even though, as he admitted to the English ambassadors, he had been advised that the original cession was invalid.
(Kjellmer (38))

(15) においては *sincerely* という語が決め手である。話者が自分のことを兵役拒否者と呼ぶことはできないと心から思っているということであるから、自分自身が情報源になっているということになる。情報源としてこれほど確実なことはないので *even though* 節内の内容が事実であると解釈されるのは自然である。(16) においては *admit* が決め手になる。この動詞はいわゆる叙実動詞 (*factive verb*) と呼ばれるもので、目的語になっている節が事実を表しているということを含意する。したがって、*even though* 節内の内容が事実であると解釈されるのは自然である。

以上が *even if* と *even though* の基本的な用法であるが、実際にはそのようなきれいな分布は示さない。Kjellmer によれば、この二つの表現が意味的に重なり合う場合があり、しかも実際の例を調べてみると *even if* が *even though* の意味で用いられている例が圧倒的に多いということである。即ち、両者が意味的に重なり合っている場合 (*even if* と *even though* が交換可能な場合) は節の表す内容が事実である場合ということになる。このことは辞書にも記載されており、たとえば *Oxford Dictionary of English* においては次のように定義されている。

- (17) *even if*
despite the possibility that; no matter whether
• despite the fact that
- (18) *even though*
despite the fact that

両者の共通部分が despite the fact that であることから even if が even though の意味で用いられる場合があることが明確に述べられている。

3.

単独で用いられた if が even if の意味を持つことがあることはよく知られている事実である。たとえば <http://www.oxforddictionaries.com/> のサイトで if を調べてみると次のような定義と例文が見つかる。

(19) Despite the possibility that; no matter whether:

‘if it takes me seven years, I shall do it’

また次に見られるように even though は though/although の強調形で、意味的には同義であることもよく知られている。

(20) *Merriam-Webster Learner's Dictionary*³⁾

even though

— used as a stronger way to say “though” or “although”

She stayed with him even though he often mistreated her.

I'm going even though it may rain.

これらの事実と前節で述べたことをつなぎ合わせると次のような関係が浮かび上がる。

(21) if = even if = even though = though/although

ただし、この関係が成立するには条件が必要である。その条件とは、前節でみたように「これらの接続詞が導く従属節の内容が事実でなければならな

い」というものである。それを踏まえて冒頭の例文（1）をみると、if 節の内容は明らかに事実を表している。即ち、（21）の関係が成立する条件は整っていると考えられる。したがって結論として、（1）においては「if = though」の関係が成立しており、その場合 if は despite the fact that の意味で用いられていると判断できる。ちなみに、日本語訳としては「辞書があるのに（もかわらず）何故翻訳者が必要なのか」と訳しても構わないと考えられる。

[注]

- 1) Rickerson, E. M. & Barry Hilton (eds.) (2012), *The 5-Minute Linguist*. Second Edition. Sheffield: Equinox. 47 章
- 2) 時制が過去に向かって転移する現象。たとえば、直接話法を間接話法に転換する際に伝達動詞が過去形である場合被伝達動詞が現在形から過去形に変わる現象のこと。
- 3) English Dictionary online Lexilogos (<http://www.lexilogos.com/english/dictionary.htm>)

[参考文献]

- Kjellmer, Göran (1989), “*Even if and even though*,” *English Studies* 70. 3.
- Rickerson, E. M. & Barry Hilton (eds.) (2012), *The 5-Minute Linguist*. Second Edition. Sheffield: Equinox.
- Soanes, Catherine & Angus Stevenson (eds.) (2005), *Oxford Dictionary of English*. Second Edition. Oxford: Oxford University Press.

SUMMARY

If = Though?

Masaharu KATOH

In this paper we examine a possibility that *if* is semantically equivalent to *though*. The key sentence is the following.

- (1) Why do we need translators if we have dictionaries?

When we look at the semantic contents of the main and the subordinate clause, that is, “we need translators” and “we have dictionaries,” we cannot see any causal relation between them. Rather, the *if*-clause is interpreted as a concessive clause. Its meaning is “in spite of the fact that we have dictionaries.” We can say that in this case *if* is considered to be semantically equivalent to or very close to *though*.

When it comes to concession and *if*-clauses, *even if* comes to mind. And in turn it reminds us of *even though*. Both of these two conjunctions introduce concessive clauses, but they are not strictly equivalent. *Even if* is conditional-concessive, i.e. it has a “non-factual” meaning, while *even though* is purely concessive, i.e. it has a “factual” meaning. According to Kjellmer (1989), “The semantic scopes of the two types of clause overlap partly in such a way that *even if* covers a wider semantic field than *even though*.” This means that *even if* can be purely concessive. Some *even if*-clauses have a factual meaning. Then the following equation is obtained.

- (2) *even if* = *even though* (under the condition that *even if* has a factual meaning)

As is generally known, *even* in *even if* is sometimes dropped and *even though* is equivalent to *though*. If these facts are put together, the following equation is obtained.

- (3) *if* = *even if* = *even though* = *though* (under the condition that (*even*) *if* has a factual meaning)

Turning back to (1), it is needless to say that the *if*-clause has a factual meaning. The condition in (6) is satisfied and we can say that the *if*-clause means “in spite of the fact that we have dictionaries.”